

2019年7月11日

空知運転所跡地における太陽光発電事業の取り組みについて

当社では、土地活用の一環として、未利用地となっていた空知運転所の跡地において、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT^{※1}）を活用した太陽光発電事業に取り組みむことといたしましたので、お知らせいたします。

※1 再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度

【概要】

所 在	: 岩見沢市大和1条5～8丁目 空知運転所用地内 (空知運転所は、1968年に岩見沢第二機関区として開設され、過去には多くの電気機関車やディーゼル機関車が配置された機関区であったが、1994年に用途廃止)
設置面積	: 31,900 m ²
発電出力	: 1.4MW (1,400 kW)
年間発電量(計画)	: 2,134,011 kWh (一般家庭の481世帯分の電力量に相当 ^{※2})
売電先	: 北海道電力株式会社
売電単価	: 18円/kWh (20年間固定)
売電金額(計画)	: 40～35百万円/年
概算工事費	: 約4億円
スケジュール	: 2019年6月 工事着工 2019年12月 竣工 2020年春 稼働予定

※2 家庭の一世帯あたりの年間電力量を4,432kWhとした場合



【位置図】



【完成イメージ】